

次号予告

特集 パズルの発想

ナッシュとゲールとシャノンとハインの、遊びをせんとや生まれけむ.....	松井知己 (東京工業大学)
パズル作家の発想法.....	稲葉直貴 (パズル作家)
パズルを考案するときのヒント.....	岩沢宏和 (早稲田大学)
イマジナリーキューブパズルの楽しみ方.....	立木秀樹 (京都大学)
Gourdsパズルができるまで.....	宇野裕之 (大阪公立大学)
組合せゲームにおけるアルゴリズムと計算量.....	小林靖明 (北海道大学)

機関誌バックナンバーのWeb掲載について

機関誌のバックナンバーを学会ホームページに掲載していますのでご活用ください。 <https://orsj.org/corsj-backnumber>
会員限定ページの閲覧に必要なユーザー名とパスワードは、会員マイページに掲載しています。

編集後記

●本号では、データ解析コンペティションの特集号として、査読を経て採録された4編が掲載されました。毎年のことですが、実データを扱うということもあり、レベルの高い論文が集まっているように感じます。ご投稿いただいた方、データをご提供いただいた企業の方に改めて感謝いたします。

●さて、この編集後記を執筆する少し前にサッカーのW杯がありました。そこでもデータサイエンスの力を随所で見ることができました。最も印象に残ったのはVARで、多くの試合で活用されていました。特に、日本対スペイン戦では結果的に「1ミリ」の判定が勝敗を分けたわけですが、正確には1.88ミリ残っていたとのことで、その精度の高さには驚かされます。今後、スポーツの世界でもデータに頼ることがますます

す増えることになるのでしょうか。

●一方で、データにも限界があると感じたこともありました。AIによる勝敗や優勝国の予想が随所でされていましたが、お世辞にも、あまり当たっていたとはいえないように思います。とある予想では、結果的に優勝したアルゼンチンの優勝確率が、初戦の敗戦で6%程度まで低下していました。最近のAI技術の進歩はすさまじいですが、人間の行動はデータだけでは説明できない、情熱や活力は過去の情報など容易に覆すことが示され、少しばかり安心した自分がいます。日本でもデジタル庁が発足し、今後、データの利活用はあらゆる方面で進むと思われませんが、それにより近い将来どこに行き着くのか、気になるところです。

(加藤 怜)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長	野々部 宏司 (法政大学)
特集担当編集委員	生田目 崇 (中央大学)
委員	朝日 弓未 (東京理科大学)、伊豆永 洋一 (九州大学)、井床 利生 (IBM基礎研究所)、井家 敦 (神奈川工科大学)、鶴飼 孝盛 (防衛大学校)、梅谷 俊治 (大阪大学)、大竹 恒平 (東海大学)、加藤 怜 (公益財団法人鉄道総合技術研究所)、小林 隆史 (立正大学)、佐久間 大 (防衛大学校)、笹谷 俊徳 (東京ガス株式会社)、猿渡 康文 (筑波大学)、関谷 和之 (成蹊大学)、高野 祐一 (筑波大学)、蓮池 隆 (早稲田大学)、原田 耕平 (株式会社NTTデータ数理システム)、山本 零 (慶應義塾大学)、吉田 琢史 (株式会社東芝)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

令和5年2月号 第68巻 第2号 通巻746号

代表者 山上 伸

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032
<https://orsj.org>

編集人 野々部 宏司

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

- ・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。
- ・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。